

産業戦略室

近年、画像医療システム産業は、医療 ICT の発展や医療機器プログラムの法定化、ヘルスソフトウェアへの広がりや AI、IoT、ビッグデータ等の技術革新が進み、スタートアップ、ベンチャー、異業種の新規参入や GAFAM 等の巨大企業の参入等業界を取り巻く環境は刻一刻と変化してきている。

また、2022 年度から 2023 年度に向けた外部環境変化として、コロナ対策としての各種制限の段階的緩和、ロシアによるウクライナ侵攻、医療機関を狙ったサイバー攻撃の増加、円安や世界的な物価高によるコスト上昇などに注視し、会員との情報共有、協働を進める。

産業戦略室は、このような外部環境変化に、画像医療システム産業としてどのように対応して行くかを常に考え、今後も他団体との連携を蓄積し、対外的な情報発信・政策提言の実績を着実に積み上げ、それらを JIRA 全体戦略の企画・立案・発信へ結びつけていく。

2023 年度の JIRA 活動基本方針は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」にある 4 つのビジョンの実現を目指し策定された。

今後 3 年間も JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025、年度の JIRA 活動基本方針に基づき、さらにこの路線の強化を進めていくとともに、産業戦略の立案機能の強化を図る。

2023 年度における産業戦略室の活動は、2023 年度 JIRA 活動基本方針の重点課題にあがる

1. 技術の進展や医療現場のニーズを踏まえた将来の医療現場への貢献
2. 会員企業の開発意欲を促進する環境整備
3. 環境変化に伴う共通課題に対する会員企業への支援の推進に取り組む。

1. 技術の進展や医療現場のニーズを踏まえた将来の医療現場への貢献”

人工知能を用いた診断支援技術の適用拡大にむけ、以下を実施する。

- ◆ 市販後性能の維持・向上の仕組み構築(医療現場の要望・期待の収集、迅速に実現できる仕組みの検討)
 - ◆ ファーストリーダ利用(適応領域・条件を明示するために、関係団体と協議、提案する)
2. 会員企業の開発意欲を促進する環境整備
(保険償還における予見性の確保、法規制解釈ガイドラインなど)
以下を実施するため、医機連との連携強化、アカデミアとの協働、会員ニーズの取得を進め、行政との意見交換会等での提言等の外部発信力の向上、部会・委員会への支援活動を行う。
 - ◆ AI やデジタルヘルスの保険償還の予見性向上等の推進
 - ◆ 健康・医療データの取り扱い、社会実装拡大に向けたデータ利活用基盤の整備(法規制解釈ガイドラインなどの作成)
 3. 環境変化に伴う共通課題に対する会員企業及び部会・委員会への支援
部材調達、物流問題対応、脱炭素等環境負荷の低減への対応など
 - ◆ 国内外での状況変化や行政動向情報の会員企業との共有、要望の収集・整理、課題解決に向けた対応
 - ◆ 外部環境変化を踏まえて、画像医療システム産業の 2030 年に向けた中期的な産業ビジョンの立案
また、外部環境変化への対応を進めるにあたり、テーマの選択と集中、全体最適なりソース配分を考えながら、産業戦略の立案機能の強化を進めていく。
 4. 基盤活動の強化
 - ◆ 会員企業の事業強化や人材育成につながるウェビナーの開催
 - ◆ 展示会の Web 化による企業プロモーション活動の場の提供

以下に、2023 年度 産業戦略室活動計画の全体を示す。

1. 本会産業戦略の企画・立案・発信

- (1) 政策企画会議主催・運営による本会産業戦略実行強化
- (2) 研究会、勉強会等を開催し、画像医療システム産業の方向性を提示
 - ◆ 画像医療システム産業研究会を、Webinar として開催(複数回)

- (3) 本会産業戦略のプレスリリース企画、推進
 - ◆ ITEM in JRC2023 JIRA 記者会見(2023 年 4 月)
 - ◆ JIRA 会長 年頭記者会見(2024 年 1 月)
- (4) 工業会活動の基盤強化・
 - ◆ JIRA 会員への付加価値向上を目指したセミナー事業の拡充
 - ◆ 業界活動を充実・支援するためのサービス環境の継続的な整備
 - ◆ 計画的に人材を確保するための仕組みの構築

2. 年度活動基本方針の提案、各部門が作成する事業計画、事業活動報告の取り纏め

- (1) 2022 年度 JIRA 事業報告の取り纏め (2023 年 4 月～6 月)
- (2) 2022 年度事業報告、2023 年度活動基本方針及び事業計画に関する社員総会資料作成準備 (2023 年 5 月～6 月)
- (3) 2024 年度 JIRA 活動基本方針の提案、取り纏め (2023 年 10 月～12 月)
- (4) 2024 年度 JIRA 事業計画の取り纏め (2024 年 1 月～3 月)

3. 産業戦略に関する内外の情報収集・調査・根拠データ作成、発信

- (1) 関係省庁、医機連からの情報収集と会員へ配信
- (2) 中長期課題の設定
 - ◆ 2023 年度はプログラム医療機器に関して検討する
例:会員の事業展開の方向性把握、海外を含めた動向調査、ポジションペーパーの作成等
- (3) 産業戦略に関する内外の情報収集・調査と DATA BOOK での発信
 - ◆ DATA BOOK2023 発行 (2023 年 4 月)
 - ◆ DATA BOOK2024 企画・執筆・編集 (2023 年 12 月～2024 年 3 月)
- (4) 受注統計システムの運用支援

4. 産業戦略に関する行政機関、関係機関等との交渉・調整等の活動

- (1) 内閣府、厚生労働省、経済産業省等、省庁との対話会等への提言作成支援
 - ◆ AI(人工知能)の社会実装拡大と将来の活用形態を見据えた法律・環境整備への提言
- (2) 外部団体と連携した提言活動強化
 - ◆ 日本メディカル AI 学会学術集会参画
 - ◆ 医機連、医療機器センター、AMED、MEJ、日本メディカル AI 学会、JRS、JART、JSRT 等との連携
 - ◆ 増加する SaMD 関連団体の実態把握、連携強化